



SOMPOアセットマネジメント

A Theme Park for Security, Health & Wellbeing

# 経済・金融市場見通し

2023年8月

2023年8月16日発行

SOMPOアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第351号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 経済・金融市場見通し： 国内

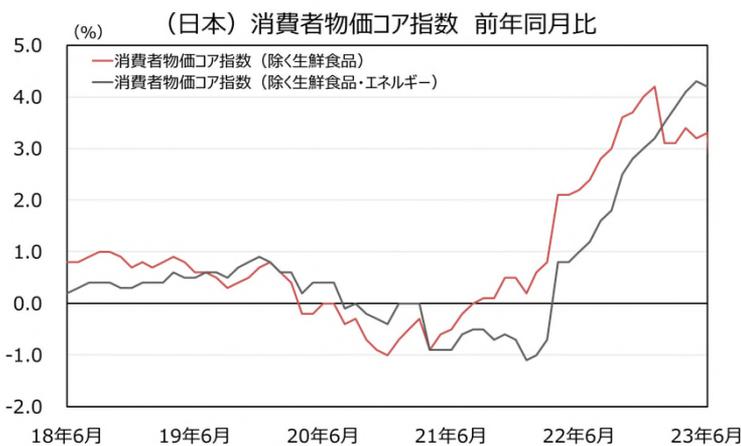
## 経済環境

### ：景気回復は緩やかなものになる

日本経済については、金融緩和の継続、入国制限撤廃によるインバウンド需要の回復などが景気を下支えし、緩やかながらも景気回復が継続すると考えます。ただし、人手不足による供給制約や人件費増大による企業収益の悪化、海外景気の減速などにより、景気回復は緩やかなものになると予想します。

物価については、6月の消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比3.3%（5月3.2%）となりました。今後は、前年対比で食料品価格等が下落に転じることから、年後半にかけて2%台の伸び率に鈍化すると予想します。

日銀は7月の決定会合でイールドカーブ・コントロール政策の運営の柔軟化を決定しました。また、同時に公表した展望レポートで、企業の賃金・価格設定行動に変化の兆しが窺われ予想物価上昇率も再び上昇する動きがみられるとして、2023年度の物価見通しを前年比+2.5%へ上方修正しました。一方で、世界経済の下振れリスクが高いなかでは粘り強く金融緩和を継続する姿勢を示しました。



## 債券市場

### ：日銀新体制の戦略修正により金利は若干上昇し、その後は、横ばい推移を予想

#### ◆ 前月の振返り

7月の10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

7月の決定会合でイールドカーブコントロール政策が変更され、日銀の10年国債利回りの上限が1%となったため、利回りが上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後については、金利は若干上昇し、その後は横ばいで推移すると予想します。

現在の日銀の姿勢を勘案すると、政策金利の変更は当面見込み難いと考えます。一方、金利の上限が上方変更されたことで、金利は上昇しやすいと考えます。ただし、1%の上限を再度変更することは短期的には見込みがたいことから、金利上昇後は、横ばいでの推移を予想します。



	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
国内債券 10年国債利回り	0.32%	0.60%	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、S O M P Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 国内

## 株式市場

### ： 上値が重くなると予想

#### ◆ 前月の振返り

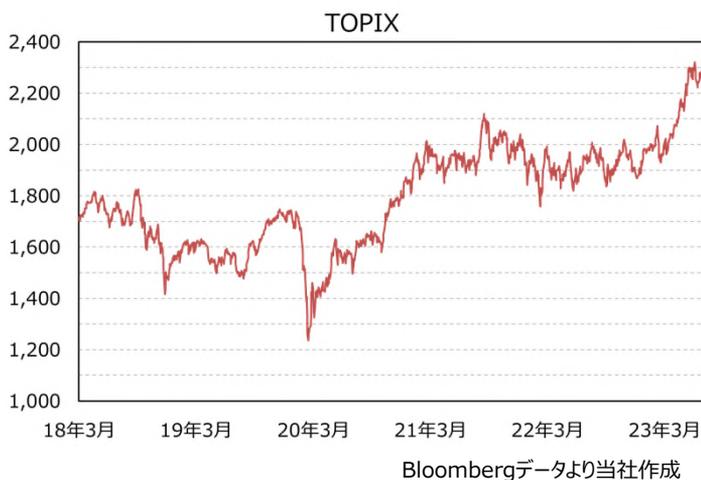
7月の国内株式市場は、上昇しました。

日銀の金融政策修正を背景に長期金利は上昇したものの、景気回復期待によって国内株式市場は7か月連続の上昇となりました

#### ◆ 見通し

今後については、上値が重くなると予想します。

7月後半から本格化した企業の決算発表では、国内の経済活動正常化の進展や自動車生産の回復、円安効果などが企業業績にプラスに寄与しているものの、欧米の引き締め的な金融政策がグローバル経済に及ぼすマイナス影響や中国経済の回復の鈍さを考えると、企業業績に対して楽観視はできないと考えています。一方、バリュエーションについては、先々の業績改善期待や東証の要請に応じた企業の資本効率改善への期待などを相応に織り込んでいることからマイナス材料に反応しやすく、更なるプラス材料がない限りは、市場参加者の先行きへの期待が一段と高まっていく状況とはなり難いと考えます。



	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
国内株式 TOPIX	2,003.50	2,322.56	2,200	2,200	2,250	2,300

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、S O M P Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

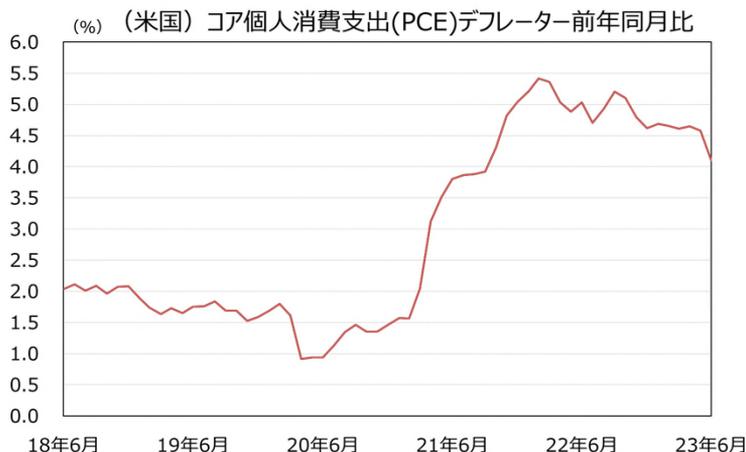
## 経済環境

### ：景気減速を予想

米国経済については、金融政策の引き締めにもかかわらず堅調に推移している一方、今後は金融引締め効果が本格的に発現することが想定され、減速する展開を予想します。

個人消費支出価格指数は、変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で、6月は前年比4.1%（5月4.6%）となりました。また、6月の失業率は3.5%（6月3.6%）となりました。

7月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、2会合ぶりに政策金利が引き上げられました。追加の利上げ判断について、パウエルFRB（米連邦準備理事会）議長はデータ次第との方針を継続する一方、早期の利下げについては可能性が低いとの見方を示しました。ただし、物価が目標の2%まで下落する前の利下げ開始を示唆しており、今後の金融政策の動向が注目されます。



## 債券市場

### ：景気後退懸念で金利上昇圧力が弱まるものの、金利低下余地は限定的と予想

#### ◆ 前月の振返り

7月の米国10年債の利回りは上昇（価格は下落）しました。

労働市場が比較的堅調であったことや堅調な企業決算を背景に景気悪化懸念が後退し、今後の政策金利が高位に長期間据え置かれるとの見通しが強まり、長期金利は上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後については、金利上昇地合いは収まり、当面、横ばい圏での推移を予想します。

物価水準がFRBの目標程度まで落ち着く状況が見通せず、金融政策の緩和転換が見通せない状況にあるため、金利は低下しにくい状況が当面続くと考えます。一方で、金融市場に対する不安の再燃や景気悪化懸念が払拭されないことから、金利上昇余地も限られると考えます。



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末実績値	23年7月末実績値	23年9月末予測値	23年12月末予測値	24年3月末予測値	24年6月末予測値
米国債券 米国10年国債利回り	3.47%	3.96%	3.80%	3.70%	3.50%	3.30%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 株式市場

：好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想

◆ 前月の振り返り

7月の米国株式市場は上昇しました。

月初、FRB高官が追加利上げを支持したことや、堅調なADP雇用統計を受けて、金利が上昇したこと、株式市場は下落しました。その後、米国銀行の決算が堅調だったことや、米国の消費者物価指数の伸びが鈍化した結果、月間では株式市場は上昇しました。

◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

FRBが公表した上級融資担当者調査において、景気減速をもたらす信用コストの増大を背景として貸出基準の厳格化が示されたことや、FRBによる利上げ再開が懸念される一方で、更なる金利上昇余地は限定的であることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。



## 為替市場

：米国の利上げ打ち止めと日本の金融政策正常化観測により、円安ドル高圧力は抑制

◆ 前月の振り返り

7月のドル円相場は、円高ドル安となりました。

日銀の政策修正観測が高まったことや、米国の消費者物価指数の伸び率鈍化により米国金利が低下したことを受けて、月央にかけて円高ドル安が進行しました。その後は、米国の底堅い景気・雇用情勢がドル高要因となる一方、日銀のイールドカーブ・コントロール政策の運営柔軟化が円高要因となり、方向感に欠ける展開となりました。

◆ 見通し

今後については、当面は現状程度の横ばい圏の動きを予想します。

米国の金融引き締めが最終段階にあるという市場認識が広がる一方、日本は金融政策の正常化に向かう兆しがあり、これまでの円安ドル高圧力が抑制されると予想します。ただし、日米金利差が縮小方向に転換するにはなお時間がかかるため、当面は方向感に乏しい展開を見込みます。



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
米国株式 S&P500	4,109.31	4,588.96	4,300	4,450	4,500	4,550
為替 米ドル/円	133.09	142.08	141.00	138.00	137.00	135.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 経済環境

### ：潜在成長率以下への成長継続を予想

欧州経済については、景気に減速感が見られるなか、引き締め的な金融政策を継続しており、潜在成長率以下の成長が継続する展開を予想します。

物価については、7月の消費者物価指数は変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で前年比5.5%（6月5.5%）となりました。

7月のECB（欧州中央銀行）理事会では0.25%の追加利上げが決定された一方、今後の更なる利上げについてはデータ次第との見方が示されました。景気に減速感が見られるなかで、物価は引き続き高水準の伸びとなっており、ECBは難しい舵取りが要求されます。

## 債券市場

### ：中銀のデータ重視姿勢により、当面は不安定な動きを予想

#### ◆ 前月の振り返り

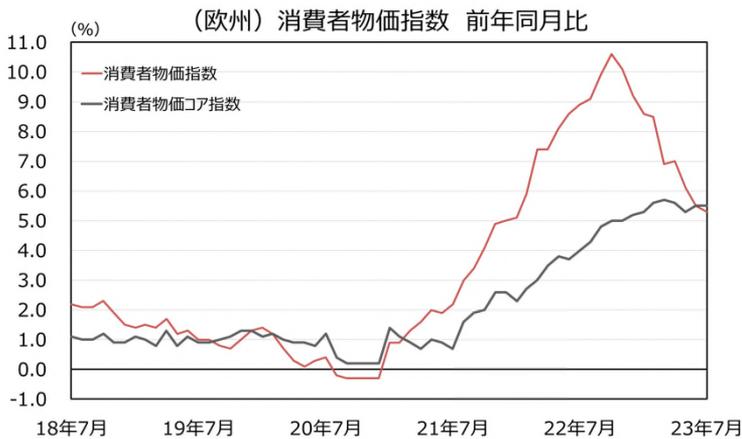
7月のドイツ10年債の利回りは上昇（価格は下落）しました。

7月の政策決定会合で0.25%の利上げを決定したことや、消費者物価指数が下落傾向ではあるものの、政策目標までは大きな差が残ることから金利は上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後について、ドイツ債券市場は、当面は不安定な相場推移になると見込みます。

基調的な物価上昇が早期に転換する可能性は低く、金利上昇圧力は継続すると考えます。一方で、景気悪化懸念が利回りの低下圧力となることや、ECBがデータ重視の姿勢を示していることから、当面、金利は不安定な動きになると考えます。



	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
欧州国債 ドイツ10年国債利回り	2.29%	2.49%	2.55%	2.40%	2.35%	2.20%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 株式市場

### ：好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想

#### ◆ 前月の振り返り

7月の欧州株式市場は上昇しました。

月初、FRB高官が追加利上げを支持したことや、独5月鉱工業生産が軟調だったことを受けて、株式市場は下落しました。その後、中国で不動産市場への新たな支援策の可能性が示唆されたことや、米国の消費者物価指数の伸びが鈍化した結果、月間では株式市場は上昇しました。

#### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

欧州景気の不透明感を背景にユーロ圏の企業の融資需要を示す指数が低水準になったことや、政策当局がインフレ抑制姿勢を継続していることが懸念される一方で、更なる金利上昇余地は限定的であることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。



## 為替市場

### ：ユーロ圏の景気減速からユーロの上値は抑えられる

#### ◆ 前月の振り返り

7月のユーロ円相場は、ほぼ横ばいとなりました。

欧州の9月の利上げ観測が後退する一方で、日銀の政策修正観測の台頭により円高ユーロ安が進行する局面もありましたが、日銀がイールドカーブ・コントロール政策の運営の柔軟化と金融緩和の継続を決定したのちは円安が進行し、月末対比ではほぼ横ばいとなりました。

#### ◆ 見通し

今後については、横ばい圏内での推移を予想します。

日本の金融政策が正常化に向かう兆しがあり、これまでの円安圧力は抑制されると予想します。一方で、ユーロ圏のインフレは引き続き高水準ながらもピークアウトしつつあり、これまでの利上げ効果の波及により景況感が悪化していることを受けてECBはデータ重視の姿勢を示していることから、ユーロの上値は抑えられると予想します。



	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
欧州株式 MSCI EUROPE指数	1,860.70	1,893.96	1,750	1,800	1,830	1,840
為替 ユーロ/円	144.60	156.65	156.51	153.18	152.07	148.50

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 経済環境

### ：中国は景気鈍化 新興国は金融緩和方向へ変更する国が増える

中国では、欧米での景気減速を背景に7月の製造業PMI(購買担当者指数)が景気縮小を示唆する水準に推移したほか、不動産企業の財務健全性への不信感から住宅販売額が前年比で減少しており、景気が一段と冷え込んでいます。

政策面では、7月下旬に開催された共産党中央政治局会議で不動産政策の「適時な調整（事実上の規制緩和検討）」が表明され、今後は住宅ローン金利の引下げや住宅購入制限の段階的な解除など具体的な不動産支援策の実施が期待されます。不動産産業はセメントをはじめとする川上産業のみならず、家電や自動車などの耐久消費財の需要にも大きな影響を与えており、不動産産業の回復は景気底入れに必要な不可欠であると考えられます。

新興国においては、これまでの利上げの累積効果や先進国の景気減速を受けて、当面は景気が減速すると思われませんが、内需が総じて底堅いなかで、インフレ圧力の緩和から利下げをする国も出始めており、年央には持ち直し傾向に転じる可能性が高いと考えます。

## 債券市場

### ：利下げ開始により、利回りは徐々に低下すると予想

#### ◆ 前月の振返り

7月の新興国債券市場の利回りはほぼ横ばいとなりました。

中央銀行が利上げサイクルの終了を宣言し、今後の利下げの可能性に言及したポーランドや、政府が電力不足の緩和見通しを示した南アフリカ等の利回りは低下（価格は上昇）しました。

#### ◆ 見通し

今後については、新興国においてもインフレ圧力の緩和から利下げを開始する国も出始めており、今後の利回りは徐々に低下すると考えます。



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
新興国債券 JPMorgan新興国債券指数 (利回り) (注1)	6.52%	6.24%	6.20%	6.10%	6.00%	5.90%

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 株式市場

：景気鈍化と政府支援策の綱引きで、一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振返り

7月のエマージング株式市場は上昇しました。

月の上旬は中国の地方政府債務への懸念が高まり、銀行株を中心に株価が下落しました。その後は、中国インターネット企業に対する規制緩和の動きが見られたことや、中国不動産市場への新たな支援策の可能性が示唆されたことを受けて相場は反発し、月間では株価はプラスとなりました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

外需不振や住宅販売の減少などを受けて景気悪化が続くことに加えて、資金繰りに問題を抱える一部不動産企業の動向が懸念される一方で、不動産政策の規制緩和や景気刺激策が株式市場を下支えすると考えるため、エマージング株式市場は、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。

## 為替市場

：米国の利上げ終了とともに、上昇に転ずると予想

### ◆ 前月の振返り

7月の新興国通貨は下落しました。

政府が電力不足の緩和見通しを示した南アフリカランド等は上昇しましたが、政策金利が引き下げられたチリペソや、利上げが実施されたものの先行きのインフレの再加速が見込まれるトルコリラ等が下落しました。

### ◆ 見通し

今後については、上昇に転じると考えます

各国のファンファメンタルズによってまちまちの動きになると思われませんが、新興国通貨全体としては、米国の利上げ局面の終了にともなって、上昇に転じると予想します。

MSCI エマージング・マーケット指数



JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)



Bloombergデータより当社作成

	23年3月末 実績値	23年7月末 実績値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値	24年6月末 予測値
新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数	59,416.19	62,768.93	58,500	60,000	62,000	64,000
為替 JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)	6,764.17	6,947.57	6,980	6,969	6,987	6,953

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 各資産クラスのリターン実績

青色は期間中に最も高いリターンであった資産クラス、  
赤色は期間中に最も低いリターンであった資産クラスをそれぞれ意味します。  
(国内株式のバリュートリプル指数・グロース指数、外国債券の円ヘッジ、および短期資産を除く)

2023年7月末時点

	国内債券	国内株式	国内株式		外国債券	円ヘッジ	外国株式	新興国債券	新興国株式	短期資産
			バリュートリプル指数	グロース指数						
過去1ヶ月間	-1.6%	1.5%	3.5%	-0.5%	-1.3%	-0.6%	1.7%	1.2%	4.5%	0.0%
過去3ヶ月間	-1.4%	13.1%	17.4%	9.3%	3.1%	-2.5%	13.3%	9.5%	13.3%	0.0%
過去1年間	-2.1%	23.0%	32.0%	15.1%	2.9%	-9.6%	21.2%	23.0%	15.7%	-0.1%
過去3年間(年率)	-1.5%	18.6%	26.0%	11.4%	2.9%	-7.3%	24.2%	9.7%	12.4%	0.0%
過去5年間(年率)	-0.6%	8.4%	9.4%	7.4%	3.6%	-2.1%	15.5%	6.0%	7.1%	0.0%
過去10年間(年率)	0.7%	9.9%	10.1%	9.8%	3.7%	0.0%	14.4%	3.8%	7.7%	0.0%
2022年度	-1.7%	5.8%	10.1%	1.5%	-0.5%	-10.2%	2.4%	9.3%	-1.6%	0.0%
2021年度	-1.2%	2.0%	8.1%	-3.8%	2.0%	-5.1%	23.0%	1.6%	-2.3%	0.0%
2020年度	-0.7%	42.1%	40.5%	43.8%	5.4%	-1.9%	59.8%	16.9%	62.7%	0.0%
2019年度	-0.2%	-9.5%	-16.2%	-2.3%	4.4%	7.5%	-12.4%	-9.2%	-19.4%	-0.1%
2018年度	1.9%	-5.0%	-5.2%	-4.9%	2.5%	1.8%	10.1%	-3.3%	-3.3%	-0.1%
2017年度	0.9%	15.9%	12.5%	19.6%	4.2%	0.9%	8.5%	7.9%	19.7%	-0.1%
2016年度	-1.2%	14.7%	19.9%	10.4%	-5.4%	-1.9%	14.5%	4.6%	16.6%	0.0%
2015年度	5.4%	-10.8%	-12.6%	-8.8%	-2.7%	1.2%	-8.6%	-7.8%	-17.2%	0.1%
2014年度	3.0%	30.7%	28.0%	33.2%	12.3%	9.5%	23.5%	3.5%	17.4%	0.1%
2013年度	0.6%	18.6%	18.0%	19.4%	15.3%	1.4%	32.4%	1.7%	8.4%	0.1%
2012年度	3.7%	23.8%	21.6%	25.5%	17.7%	4.6%	29.0%	23.0%	16.9%	0.1%
2011年度	2.9%	0.6%	1.0%	0.3%	5.0%	7.9%	0.5%	2.7%	-9.2%	0.1%
2010年度	1.8%	-9.2%	-11.2%	-6.9%	-7.5%	0.6%	2.4%	0.1%	5.4%	0.1%
2009年度	2.0%	28.5%	30.5%	28.2%	0.2%	2.1%	46.8%	29.3%	71.8%	0.1%
2008年度	1.3%	-34.8%	-29.0%	-41.1%	-7.2%	5.0%	-43.3%	-13.4%	-47.3%	0.4%
2007年度	3.4%	-28.1%	-28.3%	-27.4%	0.5%	2.3%	-16.8%	-1.8%	2.6%	0.5%
2006年度	2.2%	0.3%	3.2%	-2.7%	10.2%	-0.8%	17.9%	14.5%	21.1%	0.3%

Bloombergデータより当社作成

国内債券	NOMURA-BPI(総合)
国内株式	TOPIX(配当込み)
国内株式 バリュートリプル指数	ラッセル野村バリュートリプル指数
国内株式 グロース指数	ラッセル野村グロース指数
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
外国債券 円ヘッジ	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジベース)
外国株式	MSCI KOKUSAI(配当込み、円ベース)
新興国債券	(~2018/01)JPMorgan新興国債券指数(円ベース)
	(2018/02~)JPMorgan新興国債券指数(除くBB-格未満、円ベース)
新興国株式	MSCI エマージング・マーケット指数(配当込み、円ベース)

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 市場予測

		2023年 3月末 実績値	2023年 7月末 実績値	2023年 9月末 予測値	2023年 12月末 予測値	2024年 3月末 予測値	2024年 6月末 予測値	2023年度 予想騰落率 (注3)
国内債券	Nomura-BPI総合	374.74	370.43	366.22	366.85	367.31	367.78	-2.0%
	10年国債利回り	0.32%	0.60%	0.75%	0.75%	0.75%	0.75%	-
国内株式	TOPIX	2,003.50	2,322.56	2,200	2,200	2,250	2,300	12.3%
	日経平均株価	28,041.48	33,172.22	31,900	31,900	32,000	32,200	14.1%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	510.10	542.08	545.55	542.36	546.36	545.27	7.1%
	米国10年国債利回り	3.47%	3.96%	3.80%	3.70%	3.50%	3.30%	-
	ドイツ10年国債利回り	2.29%	2.49%	2.55%	2.40%	2.35%	2.20%	-
	JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	6.52%	6.24%	6.20%	6.10%	6.00%	5.90%	-
外国株式	MSCI KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）	5,644.42	6,669.77	6,340	6,410	6,400	6,400	13.4%
	S&P500	4,109.31	4,588.96	4,300	4,450	4,500	4,550	9.5%
	MSCI EUROPE指数	1,860.70	1,893.96	1,750	1,800	1,830	1,840	-1.6%
	MSCI エマージング・マーケット指数	59,416.19	62,768.93	58,500	60,000	62,000	64,000	4.3%
為替	米ドル/円	133.09	142.08	141.00	138.00	137.00	135.00	2.9%
	ユーロ/円	144.60	156.65	156.51	153.18	152.07	148.50	5.2%
	JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注2）	6,764.17	6,947.57	6,980	6,969	6,987	6,953	3.3%

注1 JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

注2 JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

注3 2023年度騰落率は、2023年3月末（実績値）から2024年3月末（予測値）までの騰落率

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

ご留意事項

---

# 投資一任契約に際しての一般的な留意事項

## ● 投資一任契約に係るリスクについて

投資一任契約に基づく運用は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従ってお客様から受託した資産の当初の評価額（元本）を下回ることがあり、さらに元本を超えて損失を被るおそれがあります。

投資一任契約の投資対象は、個別の投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご契約に当たっては契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

## ● 投資一任契約に係る費用について

[ご契約頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

### ■ 投資一任契約の期間中に直接または間接的にご負担いただく費用

…… 投資一任報酬をご負担いただきます。適用する料率は、運用の対象となる資産、契約資産残高、契約内容等に応じて異なりますので、料率、上限額等を表示することはできません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

### ■ その他の費用等

…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該投資一任契約に係る費用の合計額については、契約期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資一任契約を想定しております。投資一任契約に係るリスクや費用は、それぞれの投資一任契約により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく契約締結前交付書面等をご覧下さい。

## 投資信託をお申込みに際しての留意事項

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

### ●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入手数料上限3.85%（税抜3.5%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬上限2.09%（税抜1.9%）
- その他費用等・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、SOMP Oアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

## その他 留意事項

---

- 本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社（以下当社）が作成した資料です。
- 本書は、当社が、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。
- 本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。
- 本書は、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当社は、グローバル投資パフォーマンス基準（Global Investment Performance Standards, GIPS®）への準拠を表明しています。なお、当社は、2012年4月1日から2022年3月31日の期間について独立した検証者による検証を受けております。当社は機関投資家向け資産運用及び投資信託運用の意思決定過程が一体化しておりますので、GIPS基準では、全体を「会社」として定義しております。なお、当社のコンポジットの概略一覧表およびGIPS基準に準拠した提示資料は、ご請求に応じご提出可能です。GIPS®はCFA協会の登録商標です。CFA協会は、本組織を認証または推奨するものではなく、また、本書に記載されている内容の正確性または品質を保証するものでもありません。
- 請求先：S O M P Oアセットマネジメント株式会社  
投資顧問営業部 電話：03-5290-3511
- 尚、検証は、会社のコンポジットおよびプールド・ファンドの維持管理ならびにパフォーマンスの計算、提示、および配布に関する方針と手続が、GIPS基準に準拠してデザインされ、会社全体に適用されているかどうかについて保証を行うものです。検証は、特定のパフォーマンス報告書の正確性を保証するものではありません。